

ふじがわ

6 月 号 昭和60年 6 月 19 日 発行 No. 2 8 7

町 の メ モ

昭和60年 6 月 1 日 現在	
人 口	16,964人
増 減	-23人
男	8,348人
女	8,616人
世帯数	4,393世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課



食後のほみがき
よいしゆうかん

(第一幼稚園)

町のここの目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

おもな内容

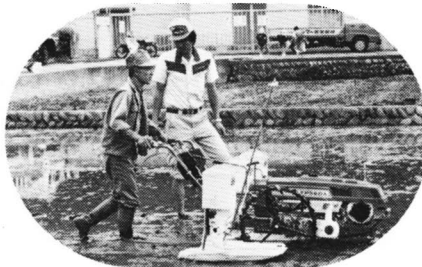
- 2～3 ページ 町のわだい…第5分団小型ポンプ操法の部で準優勝、町長杯争奪ソフトボール大会で相生ジャガーズ優勝、大師広場の池にモリアオガエルが産卵
- 4～5 広報ディスカッション「私の郷土・自慢料理」
- 6～7 ママさん記者が取材中「ボーイスカウト富士川第2・3・4団」
- 8 戸籍の窓、一里塚

昭和60年 各区のここの目標

- 健康と心のゆとりが笑顔を作る (本通四)
- 家庭内で アイサツ運動
「オハヨウ・オヤスミナサイ」
- 近所でアイサツ運動「特に子供を」 (東町一)
- ルールを守り社会を正しく (東町二)
- 笑顔であいさつ明るい町に (八幡町)

省力で経済的な稲作りを導入

5月21日、北松野保育園近くの水田など三カ所で、「湛水土壤 中直播栽培」が行われました。この栽培は、町水田利用再編対策協議会（常葉雅文会長）が、稲作りの新しい試みとして昨年から行っているもので、代かきした水田の土の中へ、発芽のための酸素供給剤をコーティングした種子を埋めこんで種まきをし、稲を育てるといった、省力で経済的な栽培方法といわれ、この技術を導入しているのは、中部農林事務所管内で当町だけです。昨年は十坪当り約五百二十六鈴の収穫があり、手植えと比較すると、五、六割多い収穫がありました。



機械運転中の小川さん

今年も、昨年に引き続き小川彬・佐野泰次さん（仮下町）所有の約二十四坪の水田で行われました。同会では、数年続け収穫結果などを見て、広く農家に普及していききたいと話していました。

町の

第一幼稚園で

親子交通安全教室を実施

町立第一幼稚園（中川辰江園長・園児百二十三人）が、5月12日「親子交通安全教室」を行いました。この教室は、交通安全の規則を父母が手本を示しながら学び、安全な態度を身につけることなどを目的として行われ、園児は年長・年少別に主会場の河川敷スポーツ広場まで、父母と一緒に正しい踏切横断や交差点横断などを体験しました。広場で行われたダミー人形の事故実験では、はね飛ばされた人形の姿に驚きの声を上げながら、交通安全を再確認していました。



ダミー人形を使った事故実験

第五分団が小型ポンプ操法の部で準優勝

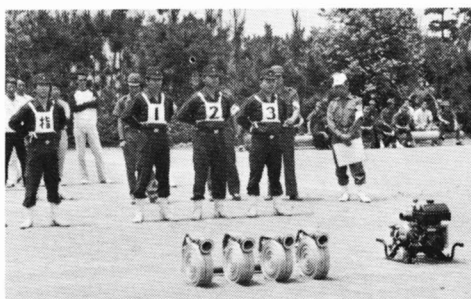
清庵支部査閲大会

6月2日午前8時30分から清水市興津の清見寺グラウンドにおいて、庵原郡と清水市の消防団員を対象に、「昭和60年静岡県消防協会清庵支部査閲大会」が行われました。同大会は、消防団員の日ごろの技術向上を図ることを目的として、昭和31年から毎年実施されているもので、出場した十九チームが、小型ポンプ操法、大型ポンプ操法、規律訓練の三種目で正確さや機敏さを競いました。

当町の消防団（久保田敏男団長・団員百二十七人）からは、小型ポンプ操法の部（一チーム四人）に第五分団が、また、規律訓練の部に町内の五つの各分団から選ばれた三十人の選手が出場し、5月1日から行われた練習成果を發揮しました。この結果、規律訓練の部では惜しくも僅差で入賞をいっしませんが、小型ポンプ操法の部では第五分団が見事準優勝を獲得しました。



規律訓練を行う選手



準優勝した五分団員

わだいの

町長杯争奪

ソフトボール大会で

相生ジャガーズ優勝

富士川町体育協会ソフトボール部（石原学部長・十六チーム）主催の「県スポーツ祭町村の部」ソフトボール大会兼町長杯争奪ソフトボール大会が、八チームが参加して4月7日から5月27日まで、河川敷スポーツ広場や夜間照明施設で行われてきました。

5月27日、第一中学校の夜間照明施設で行われた決勝戦では、勝ち進んできた相生ジャガーズと富士松野の両チームが対戦し、十五対〇で相生ジャガーズが勝ち優勝しました。

試合終了後、常葉雅文町長から優勝した相生ジャガーズに優勝杯が、久保田幸男町体育協会会長から両チームに表彰状が贈られました。



優勝した相生ジャガーズのみなさん。優勝した相生ジャガーズは、町の代表として8月24日蒲原町で行われる、ブロック大会の出場権を獲得しました。

モリアオガエルが産卵

大師広場の池に

野田山健康緑地公園内の大師広場の池のまわりに植えられている木に、モリアオガエルが、5月下旬から卵を産みはじめました。

白い泡状の卵塊は、いずれも約十五センチほどの大きさで、池の水面にたれたモミジなどの木に産み付けられ、十三個確認できます。

このカエルの卵塊は、大変めずらしく貴重ですので、みなさん、成長を暖かく見守っていきましょう。



モリアオガエルの卵塊

郡子ども自転車大会で二小Bチームが準優勝

6月8日町立第一小学校体育館で、交通安全協会蒲原地区支部主催の「第十五回交通安全子ども自転車庵原郡大会」が行われました。

この大会は、人格や行動などすべての面で成長期にある小学生児童に、自転車の安全な乗り方教育を実施し、交通安全の知識を日常生活において習慣させていき、子どもの自転車事故防止を図ることを目的として行われ、郡内の小学校から選ばれた十五チームが、学科・実技試験で競いました。

一・二小の両校から出場した六チーム（一チーム四人）二十四人の選手は、道路標識など設問五十問の学科試験、右・左折の安全確認や信号機のある交差点の通過などの実技試験に真剣に取り組みました。

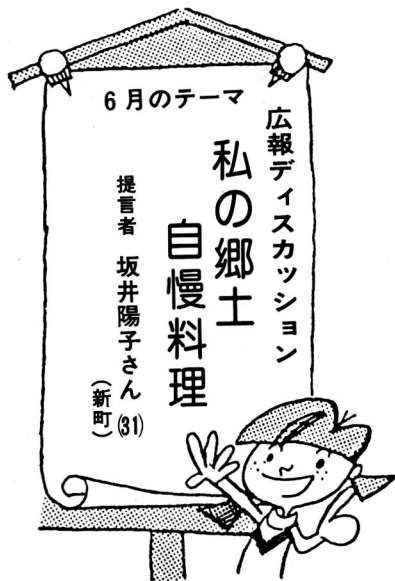
出場した十五チームの選手のなかには、緊張のあまり、停止や右・左折の合図を忘れる選手も見受けられました。

その結果、団体の部で二小Bチームが高得点をあげ準優勝しました。おしくも少差で入賞をいっした一・二小には敢闘賞が贈られました。



学科試験(上)実技試験(下)に真剣にとりくむ選手





甘いのあるキャベツ
話題の煮豆

清水町 黒岩みさ子さん(30)
群馬の家へ行くとお茶うけに必ず出てくるのが、大皿に盛りだされたキャベツの千切りです。それにおしょうゆをかけて食べるのですが、初めて出された時はびっくりしました。千切りはわき役と想っていたのに主役であらわれて、シャキとして甘味があり、大盛りがまたたく間に消え、おかわりが運ばれ、話もはずんで、高原キャベツの産地ならではの食べ方、おいしさだと思います。おみやげにいただいて家でぎざんでも、その味は出ないのです。そして、もう一つ、煮ると一

粒が三〜四粒にもなる花いんげんの煮豆。人寄せがあると必ず顔を出します。私も習って作りますが、上手に煮えません。義姉に聞くと、「昔から、豆を天井に放って落ちてこなくらいになつてから砂糖を入れるといいといわれている」と教えてもらったけど、なべをながめ天井をにらんで、何回も煮ているうちにだんだん上手になつてきたと思つています。今では女の人が集まると、この豆の煮方も話題となり、それぞれの工夫、味付けなど、みな自信をもつて、わが家の煮方を披露するのです。話題になる料理、その品を見た時、料理のむこうに人が見え、「ごぶさたしています。お元気ですか」と呼びかけたくなる。

鹿児島島のあくまき

南町二 齊藤ひろ子さん(32)
わが家には、5月4日に必ず宅配便が届きます。「ごめんください」の一声で、その中身さえわかるくらいです。鹿児島県に住んでいる両親から、二人の息子の成長を願いちまきが送られてきます。鹿児島島のちまきはあくまきといいますが、あくにつけた餅米を竹の皮に包んで煮たものです。
①餅米を洗い水気をきる。
②木灰から灰汁(あく)をとる。
③餅米を一晩灰汁につける。
④乾燥した孟宗竹の皮を

とてもなつかしい
あんこうなべ・ういの貝焼

新町 今宮幸子さん(28)
私の生まれ育った福島県いわき市小名浜は、東北の玄關港として栄え、また、いわき七浜の一つとしても知られているところです。魚市場では年間約二百トの水揚げがあります。近年は少なくなりましたが、秋に採れる柳かれい、これはひと塩して、二〜三日干し、ほどよく焼いて

7月のテーマ

ことしの夏休みの計画

今年度の夏休みの計画は、球技大会の練習、水泳の練習、映画を見に行く、本を読む。学校の勉強、山梨、九州旅行など……いっぱいやることがあるけど、中でも九州旅行は、わたしの一番の楽しみになっている計画の一つです。
なぜかというわたしの思い出は、おばあちゃん、おばあちゃん、川崎、九州、山梨と大勢いますが、まだ九州の思い出は、ただ旅行したことだけ行ったことがないからです。今年の春休みには、川崎のおじいちゃんの家へお姉ちゃん二人で行きました。行く時はとても不安でしたが、時刻表を見て一つひとつ止まる駅を調べて行くと、知っている所へ行くように楽に行けたので、夏休みには、またお姉ちゃん



望月尚子さん 一小五年 (新町本町)

おいしい味噌ラーメン
じゃがいも

新町本町 龍本幾代さん(33)
私は生粋の道産子で、ご多分にもれず私もラーメン党の一人である。実家は旭川にあり、富士川にぐる前の釧路時代、里帰りの折は必ず好きなラーメン屋へ通っていた程で、味噌ラーメンの味が、私の思い出から離れない。無性に食べたい時は少しでも近い味にと思い出しながら作る。たれには、人参・にんにく・玉葱・生姜をすり下し、長葱と炒め、味噌・正油・味噌・酒唐辛子などを加えて煮詰める。コクのあるスープ(鶏がら、豚骨で取るのがおいしい)と混ぜ合わせる。麺は太くて腰のある物を固めに茹でる。歯ごたえお

母の味付け竹の子料理

堺町 望月まゆみさん(32)
大雨の後の富士川は荒々しい男の姿を見せる。対岸の岩場にぶつかり淵を成す。静かな時は深い青色をし、美しい姿となる。さまざま姿を見せる富士川の土流に、私の生まれた町芝川が

いしさを増す。仕上げに、もやし・わかめ・コーン・焼豚、何でものせてしまう。この味が私の故郷の味である。もう一つ北海道といえはじゃがいも。野菜が少なくなる冬は、越冬野菜の一つとして、各家庭で五、十単位で求め、凍らせ無いうに保存する。少しでも多く食べたい。私は手打ちうどんの中へ加える。濃い目の出しをかつおと昆布でとり、その味を生かすように薄味に調味し、南蛮海老・鶏肉・毛ガニ・生の帆立、野菜とうどんを加え、わが家特製のうどんすきにしている。月並だが、食べ終わった後のスープには雑水が最高だ。また懐かしさがこみ上げてきた。

ある。
春が近づき、日々暖かさが増してくると竹の子を思いおこす。4月の初旬になると、これを目当てに実家へ出かけていく。竹林に入り中を歩くと少しだけ土が盛り上がりつつある。土をかき分けると、竹の子の先が出てくる。その回りを根本まで掘り、一気に力を入れ根本を切

わがふるさと「山口」

富士松野 山仲智枝さん(37)
「ふる里」とても心地よい響きが心を和ませてくれます。わがふる里山口市の市街地を流れる一の坂川では、6月に入ると源氏・平家ばたるが無数飛び交う、昔懐かしい風情がしのべれます。
山口は西の京都ともいわれ、空気はともきれいで、静寂とした町並みの中、学生の町ともいわれ、歴史的にも

も酔の物に添えても良く栄養満点です。新鮮な魚といろいろな海の幸は、今の私には、とてもなつかしいふるさと味に仕上がりました。

名の残る人物や名所は、数多く知れ渡っています。

このごろは、住いと暮し向きが、私たちの育ったころとはすっかり変わってしまいましたが、それでも自分の生まれた土地、育った家は、年とともに懐かしく思われ、そこがふる里といえるのではないのでしょうか。子どもたちには、これから人と人との出会いの中で、あたたかい心の触れ合いを経験し、豊かに育って行く中で、この松野を良きふる里にしていってほしいと願っています。

ものだ。また、日に干して保存しておいたものは、中華風の炒めものに入れてもいい。

子どもは、それほどおいしいと思つた記憶もないが、今は、母の味付けとともに、それぞれの料理が欠かせないものとして、私の中に残っている。

- ◎7月号のテーマ
ことしの夏休みの計画
- ◎字数 四百字づつ原稿用紙一枚以内
- ◎締切り日 6月26日(木)まで
- ◎投稿先・問合せ先
富士川町役場総務課
岩淵1番地
- ◎注意事項
匿名者の原稿は掲載しませんが、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切り日までに投稿してください。

ママさん記者が取材中



ボーイスカウト 富士川第2・3・4団

のカブスカウト、高校生のシニアスカウト、大学生のローバースカウトがあります。町で活躍している団は、富士川地区に第三団（芦沢昌美団委員長、カブ四十四人、ボーイ五十三人、シニア二十一人、ローバー十二人）、南松野地区に第二団（佐野義平団委員長、カブ十三人、ボーイ三十人）、北松野地区に第四団（石川文彦団委員長、ボーイ二十二二人）があります。

行事などの調整がなかなか大変のようです。また、この活動を指導するリーダーもボランティア活動ですので人材が不足しているようです。今後、各団ではリーダーの発掘や年間活動の充実に力を注いでいきたいと話していました。第二団では、鼓笛隊の復活を進めるようです。ボーイスカウトは、いつでも入団できますので、入団希望者はさっそく各団委員長さんにご連絡ください。

- ①週一回ぐらい、二時間程度の集会
- ②休日に行く、地域の神社や公会堂の清掃
- ③みどりの羽根募金
- ④テント張りや炊事訓練を行う、夏休みの野営
- ⑤大晦日の除夜の鐘つきなどいろいろの活動があります。

- 第二団 佐野さん（五十二歳）
- 第三団 芦沢さん（二二歳）
- 第四団 石川さん（五十二歳）

（広報モニター）植松春美

深緑の葉を揺らす風が、一番さわやかに感じられた5月31日 私たち広報モニターは、役場にボーイスカウト富士川第二団委員長 深沢文彦さん、第四団委員長 石川文彦さんをお招きし、富士川町のボーイスカウト活動についてお話をうかがいました。

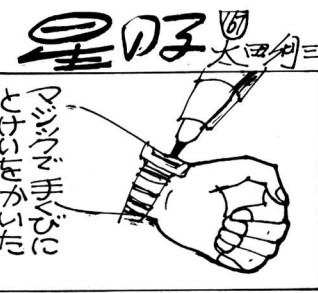
ボーイスカウトは、正しい生活態度と奉仕の精神を身につけ心身とも健全な青少年の育成を目的とした団体で、小学六年生から中学三年生までの子ども、指導者、育成者などによって構成されています。この団の中には他に小学三年生から五年生ま



石川さん(左)・深沢さん(右)にインタビューする広報モニター

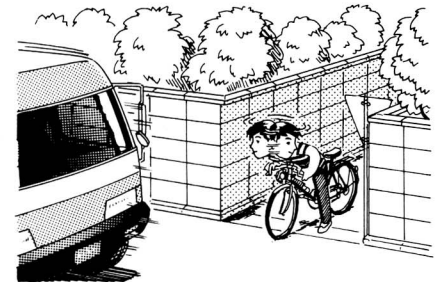
▼社会教育(地域学習)の課題 ▲ 国際婦人年十年を思う

今年国際婦人年十年にあたり、婦人の地位向上、男女平等あるいは婦人の解放をその大きなねらいとして、これまで活動が展開されてきました。国際婦人年の意味は大いにありましたし、この傾向は続くと思います。しかし、婦人問題は単なる皮相的な表われでその実効を云々することは早計です。たとえば、性別役割分担について、その改善がなされてきたかどうかはつきりしません。婦人の地位向上とか婦人の解放が声高に叫ばれているものの日本人の伝統的な意識構造の中には男女を問わず、男は外、女は内、嫁ぎは外、家事は内という固定概念が依然として根強いものがあります。ある統計では婦人の七十割が賛成している事実が婦人の自立を困難にしているのではありません。また別の統計では日本の婦人の六十二割は仕事以外、家庭の外での活動を何もしていないという結果があり、しかも四十二割の人は今後も参加したくないと言っております。こうした意識の変革なしに婦人の活動を議論するのは少々危険だと思えます。婦人は悩み、不安をもっています。これを自分たちの生活課題として学習が始められたとき、婦人の意識の変革が始めるのではないかと思えます。生涯学習社会の形成、学習基盤の醸成の必要がいわれる今、婦人が自分たちの生活の中から不安や悩みを学習課題として、共に話し合い、考え合い、教える中で自己を高めていこうとするところこそ必要ではないでしょうか。国際婦人年の十年を契機に、婦人活動のあり方を見直し、今後の方策を考へ合う必要があるのではないかと思うのです。



家族で話し合おう 飛び出す前に 安全の確認を

自転車の交通事故でいちばん多いのが「飛び出し」によるものです。路地など狭い道から大きい通りに出るとき、自転車は小回りがきくので、つい左右の安全を確かめずにスイッと飛び出してしまいがちです。もし、そこへ車が走ってきたら……これでは、自転車の便利さがかえって「災い」を招いてしまっているといえないでしょうか。事故を防ぐために、ぜひ次のことを守ってください。「一時停止」の標識のあるところではもちろん、狭い道路から広い道路に出るときなどは、必ずいったん止まって左右の安全



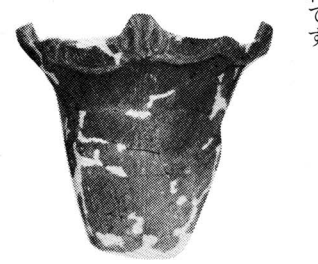
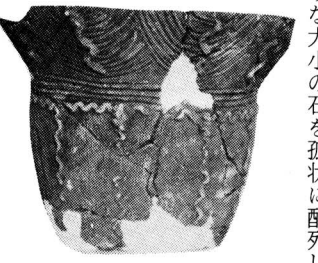
この標識のあるところでは必ず止まろう

人身事故	3件(14)	合計	8件(22)
物損事故	5件(8)		
富士川身延線	1件(6)		
国道一号線	6件(6)		
町道	1件(9)		
県道	0件(1)		
その他	0件(0)		

()は昨年

大平遺跡出土品一括

昭和54年12月15日指定 指定番号 第8号 指定物件 縄文土器、石器、土製品 保管者 富士川町教育委員会 保管場所 富士川町歴史民俗資料館 大平遺跡は、北松野峰山の標高二百五十メートルの台地に位置し、ゴルフ場建設工事に先立ち、昭和48年に発掘調査された遺跡です。同調査の結果、富士川流域では最大規模の配石遺構や二戸の住居跡が発見され、多数の縄文土器や石器が出土しました。発見された遺構のうち、平らな大小の石を孤立に配列した配石遺構は、総延長約七十メートルの群からなっています。第一と第四群に分類された配石群からは、完全な形で土器が二個ずつ検出されました。完形な土器が配石遺構の中から検出されたのは、当町でははじめてのことでした。また、二戸の住居跡は、直径約五メートルのほぼ円型で、平らな石で組まれた炉跡、石皿などが出土しました。同遺跡はこのような遺構や遺物から、今から約四千五百年前の縄文時代中期の遺跡として位置づけられました。配石遺構から出土した土器など多数の資料は、当町の縄文時代を研究する上で大変貴重な資料です。



戸籍の窓

かなしみ

大北町 宇佐美典子 茂 二女

S 60・5・15・5・31届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
新町	山本達文	文則	長男

若葉の季節を楽しんでいたのも

一里塚



「たまには歩くのも良いね」と、同僚と話しながら歩くこと十分、額から汗がにじんでくるころ職場に到着、それから、ラジ

町への寄付金

(敬称略)

二十万円	社会福祉事業へ
望月 晋 (大北町)	
二百万円	中央公民館建設基金
秀村敏朗 (俣下町)	

へ

秀村敏朗 (俣下町)

作業服上衣十九着

高井フミ子 (東町二)

S 60・5・7

善意銀行へ寄託

小永井邦子 (川坂)

十万円	社会福祉事業へ
本内せつ (俣下町)	
百万円	中央公民館建設基金
中央公民館建設基金	

へ

小永井邦子 (川坂)

S 60・5・7

作業服上衣十九着

高井フミ子 (東町二)

貧血を予防する

お母さんの知恵袋

わが国では、女性の貧血が非常に目立ち、成人女性の二十〜二十八割にのぼっています。それもほとんどが栄養性貧血、すなわち鉄欠乏性貧血です。若い女性の場合、やせたいからといって食事を抜いたり、偏食、ありあわせで簡単にすませます。食事、インスタント食品偏重、間食のとりすぎなどは、栄養のアンバランスと不足を招き貧血を促進します。鉄欠乏性貧血は、鉄分のあるもの(レバー、卵、ひじき)を十分とる必要がありますが、血液中の主要成分は鉄を含んだ蛋白質でできているので、鉄分を摂取する時には蛋白質も一緒にとることが必要になります。卵、肉、魚を毎日しっかりと食べましょう。それに加えて食品中の鉄分が体内で吸収されやすくするためには、ビタミンCも必要になります。新鮮な緑黄野菜や果物も欠かさず食べましょう。

これらのことから貧血には鉄分と蛋白質、それにビタミンCを一緒にとると効果があることがわかりましたね。食事の組合せを十分注意しましょう。

五月詠草 (天野寛選)



四十九町 辻 すみじ
留字の手続き取らむと孫は今日
米大使館へ保証人に行く
相生町 望月 侑子

丈長く白くそろいしタンポポの
わた毛をすべて風持ち去りぬ
小池 中川しな子
茶の芽吹き確かむと来て持山の
雑木を渡る風の香にたつ
上町 望月 晴子

朝日差し赤くそびゆる平戸大橋
下を漁船は水尾引きてゆく
本通一 長橋 安子
軒先を占めてえにしだ咲く今は
入るも出づるも道なきわが家
坂下 植松 秀子

晩翠の歌刻みある城址を若く歩
みき制服の子と
四十九町 塩川 恒子
法要に集う叔母らのみやげにと
雨後の草分け野路つみたり
木島 角替千鶴子

針仕事しながら語る老姑はひた
むきに生きしと九十年を
宮町 荻野 敏音
風もなき初夏の夜は諸木より匂
い来るなり生臭きまで
相生町 長谷川ゆり子

樽酒を柀に移してふるまえば酒
と木の匂の満つる棟上